NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

第26期 中間報告書

2019年1月1日 ▶ 2019年6月30日



日本コンセプト株式会社

証券コード：9386

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第26期第２四半期連結累計期間（2019年１月１日から2019年６月30日まで）における当社の取組みと成果につきまして、ご報告申し上げます。

当社は、ガスタンクコンテナを利用した高圧ガス事業を2017年５月にスタート、翌2018年１月には西日本における高圧ガス事業拠点として兵庫県神戸市に阪神支店を開設し、高圧ガス事業に関連するビジネスを推進しております。

今年度は、京葉臨海支店に加えて阪神支店にもフロンガスの破壊設備を建設中であるほか、お客様の新たなニーズにお応えするため京葉臨海支店と阪神支店で倉庫兼作業施設の増築工事も進めております。

当社の事業は、環境破壊を防ぎ、自然を守るタンクコンテナを活用したビジネスであり、今後もニーズが拡大していくことが見込まれるなか、日本の物流を変えるべく事業を拡大して参る所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後も何卒一層のご支援とご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2019年８月

代表取締役社長　**松元　孝義**

事業の概況

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、工作機械や半導体製造装置などの機械、自動車などの輸送機器、電子部品など主要輸出品の不振が続きましたが、労働需給の引締まりに伴う緩やかな賃金上昇による消費の拡大や、企業の省力化投資等に後押しされた堅調な国内需要を背景に、緩やかな拡大基調が維持されました。世界経済に目を向けますと、米国景気は底堅い成長が続くというのが基本的見方でありますが、企業投資が減速して、製造分野が弱含んでいる側面もあり、また欧州域内経済も好調な雇用が支える形で底堅い一方、米中貿易摩擦や中東の緊張状態の高まりなど外部要因が景気に下押し圧力をかける懸念があります。中国では、６月の国内総生産（GDP）の成長率が前期を下回り、1992年以降で最低を記録する中、工業生産・不動産投資とも減速、輸

日本コンセプト株式会社　経営理念

1．わたしたちは、効率的な国際物流システムを構築・運営することにより、
　世界中のお客様に貢献します。

2．わたしたちは、きめ細かい高品質のサービスをお客様に提供します。

3．わたしたちは、働く厳しさと喜びを共有し、
　国際物流のプロフェッショナル集団となることを目指します。

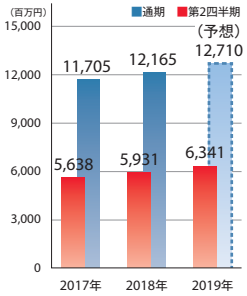
4．わたしたちは、公共性・信頼性・国際性を備え、社会に誇り得る会社となることを目指します。

出・輸入も減少しており停滞感が強まっている状況がうかがえます。

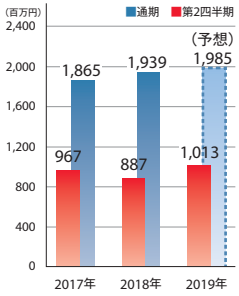
このようなビジネス環境のなか、当社は、これまで日本国内で生産していた化学品を海外から調達することにより日本では付加価値の高い化学品を製造することにシフトしているメーカー向けの輸入取引の獲得に注力することにより、着実に成果を上げております。また、一昨年にスタートした高圧ガスビジネスにおいてフロンガスの再生、回収、破壊事業が順調に拡大しているうえ、同事業に附随するビジネスや新しい顧客も着実に増加していることから、当第２四半期連結累計期間における売上は、前連結累計期間を410百万円上回る6,341百万円（前年同期比＋6.9％）と過去最高を記録しております。

財務ハイライト（連結）

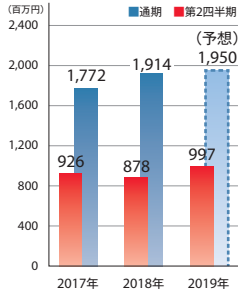
■売上高



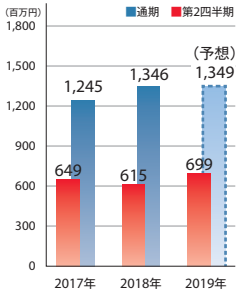
■営業利益



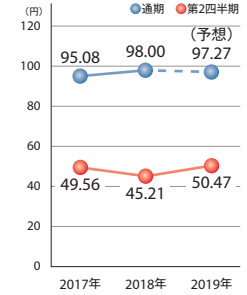
■経常利益



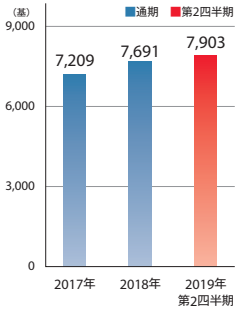
■親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



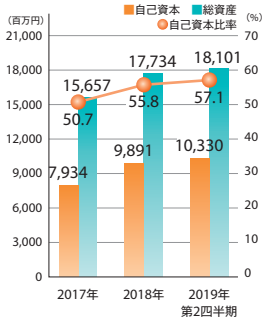
■1株当たり四半期（当期）純利益



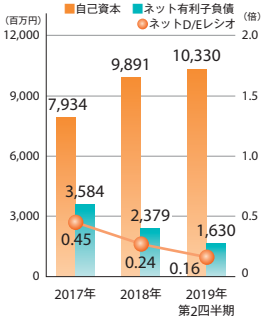
■タンクコンテナ保有基数



■自己資本比率



■ネットD／Eレシオ※



※ ネットD／Eレシオ（倍）＝（有利子負債－現預金）÷自己資本 … 長期の支払能力（安全性）をはかる指標

TOPICS 01

メキシコ向けサービスの開始



当社は、お客様の様々なご要望にお応えするため国際ネットワークの拡充に努めておりますが、この度、中南米におけるロジスティクス拡充の第一歩としてメキシコ航路を開設いたしました。

この新航路の開設に伴い、メキシコとの輸出入取引が直接行えるようになったほか、メキシコでの通関手続きや内陸輸送のサービスもご提供することが可能となりました。

又、メキシコにおける当社の総代理店業務を、商船三井ロジスティクス株式会社のメキシコ現地法人である“MOL Logistics Mexico社”に委託することにより、株式会社商船三井との資本業務提携によるシナジー効果の成果のひとつとなりました。

TOPICS 02

ガス事業関連設備の増強



当社は、『地球環境を守る』ことを会社の理念として、ガスタンクコンテナを利用した高圧ガスの輸送・保管サービスに加え、フロンガスの回収、再生、破壊作業を一貫して請け負うという新しいビジネスモデルを2017年5月に京葉臨海支店（千葉県富津市）に構築いたしました。

その後の地道な営業活動の結果、フロンガス破壊に対する高いニーズが西日本地区にもあることが判明したことから、阪神支店にフロンガスの破壊設備を構築して京葉臨海支店と同様のサービスをご提供することといたしました。



さらに、ガスタンクコンテナ事業に附随するお客様ニーズに充分お応えするため、京葉臨海支店と阪神支店にある倉庫兼作業施設を増築することとなりました。

これにより、従来のケミカル事業に加えてガス事業においてもトータルソリューションサービスをご提供できる能力が大幅に向上、今後、更なる売上増加を見込んでいます。

（倉庫兼作業施設は今秋、ガスの破壊設備は今冬に完成予定）

連結業績推移

区　分		第23期（2016年12月期）	第24期（2017年12月期）	第25期（2018年12月期）	第26期第2四半期（2019年12月期）
売上高	（百万円）	10,494	11,705	12,165	6,341
売上総利益	（百万円）	3,019	3,248	3,398	1,740
営業利益	（百万円）	1,716	1,865	1,939	1,013
経常利益	（百万円）	1,583	1,772	1,914	997
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	（百万円）	1,079	1,245	1,346	699
純資産	（百万円）	7,042	7,934	9,891	10,330
総資産	（百万円）	14,819	15,657	17,734	18,101
１株当たり純資産額	（円）	537.72	605.79	713.24	744.88
１株当たり四半期（当期）純利益金額	（円）	82.43	95.08	98.00	50.47
自己資本比率	（%）	47.5	50.7	55.8	57.1
自己資本当期純利益率	（%）	16.1	16.6	15.1	6.9
営業活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	1,945	2,102	2,034	1,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△ 678	△ 1,490	△ 516	△ 174
フリーキャッシュ・フロー	（百万円）	1,267	611	1,517	1,326
財務活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△ 1,176	△ 1,042	△ 166	△ 874

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科　目	第24期 (2017年12月31日)	第25期 (2018年12月31日)	第26期第2四半期 (2019年6月30日)	増　減
【資産の部】				
流動資産 (※1)	4,164	5,711	6,129	418
現金及び預金	2,492	3,772	4,321	548
売掛金	1,330	1,413	1,432	18
その他	342	525	376	△ 148
貸倒引当金	△ 1	△ 0	△ 0	0
固定資産 (※2)	11,493	12,023	11,971	△ 51
有形固定資産	11,068	11,482	11,434	△ 48
建物及び構築物（純額）	1,236	1,564	1,491	△ 72
機械装置及び運搬具（純額）	273	340	368	27
タンクコンテナ（純額）	6,890	7,302	7,335	32
土地	2,195	2,195	2,195	—
建設仮勘定	440	44	11	△ 33
その他	32	33	32	△ 1
無形固定資産	229	295	294	△ 1
投資その他の資産	194	246	243	△ 2
資産合計	15,657	17,734	18,101	366

（単位：百万円）

科　目	第24期 (2017年12月31日)	第25期 (2018年12月31日)	第26期第2四半期 (2019年6月30日)	増　減
【負債の部】				
流動負債 (※3)	3,332	2,986	3,095	109
買掛金	879	775	795	19
短期借入金	420	152	250	98
1年内返済予定の長期借入金	974	983	870	△ 113
リース債務	422	393	416	23
未払法人税等	321	347	319	△ 27
その他	314	334	443	109
固定負債 (※4)	4,390	4,857	4,676	△ 181
長期借入金	2,869	2,656	2,214	△ 441
リース債務	1,375	1,967	2,200	232
その他	146	233	261	27
負債合計	7,723	7,843	7,771	△ 72
【純資産の部】				
株主資本	7,875	9,886	10,377	491
資本金	600	1,134	1,134	—
資本剰余金	526	1,060	1,060	—
利益剰余金	6,748	7,690	8,182	491
自己株式	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	59	5	△ 47	△ 52
純資産合計 (※5)	7,934	9,891	10,330	438
負債純資産合計	15,657	17,734	18,101	366

※1　流動資産は、前連結会計年度末に比べ418百万円増加（7.3%増）し、6,129百万円となりました。その他流動資産が148百万円減少したものの、現金及び預金が548百万円、売掛金が18百万円増加したことが主な要因です。

※2　固定資産は、前連結会計年度末に比べ51百万円減少（0.4%減）し、11,971百万円となりました。タンクコンテナ（純額）が32百万円増加したものの、建物及び構築物(純額)が72百万円、その他有形固定資産が7百万円減少したことが主な要因です。

※3　流動負債は、前連結会計年度末に比べ109百万円増加(3.7%増)し、3,095百万円となりました。1年内返済予定の長期借入金が113百万円、未払法人税等が27百万円減少したものの、買掛金が19百万円、短期借入金が98百万円、リース債務が23百万円、その他流動負債が121百万円増加したことが主な要因です。

※4　固定負債は、前連結会計年度末に比べ181百万円減少(3.7%減)し、4,676百万円となりました。リース債務が232百万円、その他固定負債が17百万円増加したものの、長期借入金が441百万円減少したことが主な要因です。

※5　純資産は、前連結会計年度末に比べ438百万円増加（4.4%増）し、10,330百万円となりました。為替換算調整勘定が52百万円減少したものの、利益剰余金が491百万円増加したことが主な要因です。

四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第24期 2017年１月１日から 2017年12月31日まで	第25期 2018年１月１日から 2018年12月31日まで	第25期第2四半期 2018年１月１日から 2018年６月30日まで	第26期第2四半期 2019年１月１日から 2019年６月30日まで	増　減
売上高 (※6)	11,705	12,165	5,931	6,341	410
売上原価	8,456	8,767	4,349	4,601	252
売上総利益	3,248	3,398	1,582	1,740	157
販売費及び一般管理費	1,383	1,459	695	726	31
営業利益 (※7)	1,865	1,939	887	1,013	126
営業外収益	32	55	22	15	△ 7
営業外費用	125	80	31	31	0
経常利益 (※7)	1,772	1,914	878	997	118
特別利益	—	0	—	2	2
特別損失	4	1	0	3	3
税金等調整前四半期（当期）純利益	1,767	1,912	878	995	117
法人税等	522	565	262	295	33
四半期（当期）純利益	1,245	1,346	615	699	84
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	1,245	1,346	615	699	84

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第24期 2017年１月１日から 2017年12月31日まで	第25期 2018年１月１日から 2018年12月31日まで	第25期第2四半期 2018年１月１日から 2018年６月30日まで	第26期第2四半期 2019年１月１日から 2019年６月30日まで	増　減
営業活動によるキャッシュ・フロー (※8)	2,102	2,034	1,011	1,500	488
投資活動によるキャッシュ・フロー (※9)	△ 1,490	△ 516	△ 449	△ 174	274
フリーキャッシュ・フロー	611	1,517	562	1,326	763
財務活動によるキャッシュ・フロー (※10)	△ 1,042	△ 166	842	△ 874	△ 1,716
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△ 33	△ 24	△ 30	△ 6
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 416	1,317	1,381	421	△ 959
現金及び現金同等物の期首残高	2,564	2,148	2,148	3,466	1,317
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	2,148	3,466	3,529	3,887	358

※6　一昨年にスタートした高圧ガスビジネスにおいてフロンガスの再生、回収、破壊事業が順調に拡大しているうえ、同事業に附随するビジネスや新しい顧客も着実に増加していることから、当第２四半期連結累計期間における売上は、前連結累計期間を410百万円上回る6,341百万円（前年同期比+6.9%）と過去最高を記録しております。

※7　更なる事業の拡大を展望した設備投資や人財確保のため、支店設備の増強やタンクコンテナ保有基数の増大などの設備投資に伴う減価償却費や人件費等が増加しているものの、営業利益は前連結累計期間を126百万円上回る1,013百万円（前年同期比+14.3%）となり、経常利益においても前連結累計期間を118百万円上回る997百万円（前年同期比+13.5%）を計上しております。

※8　営業活動の結果得られた資金は、1,500百万円（前年同四半期は1,011百万円の収入）となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前四半期純利益995百万円と減価償却費540百万円であり、法人税等の支払額312百万円が主な資金の減少要因です。

※9　投資活動の結果支出した資金は、174百万円（前年同四半期は449百万円の支出）となりました。主な資金の減少要因は定期預金の純増額138百万円と有形固定資産の取得による支出36百万円です。

※10　財務活動の結果支出した資金は、874百万円（前年同四半期は842百万円の収入）となりました。主な資金の増加要因は、短期借入金の純増額98百万円であり、主な資金の減少要因は、長期借入金の返済による支出554百万円、リース債務の返済による支出211百万円、及び配当金の支払額206百万円です。

■ 会社の概要

社名	日本コンセプト株式会社
設立	1994年1月
資本金	11億34百万円
従業員数	193名（連結）
業種	ISOタンクコンテナを用いた総合物流業
事業内容	化学品、及び各種ガスの国際複合一貫輸送 液体貨物の保管、加温、他の輸送容器との積替 フロンガスの回収、再生、破壊 ケミカルタンクコンテナの洗浄、メンテナンス ガスタンクコンテナの保管、検査
取引銀行	三菱ＵＦＪ銀行、三井住友銀行、 みずほ銀行、商工組合中央金庫、 日本政策金融公庫、その他

■ グループ会社

NIPPON CONCEPT SINGAPORE PTE. LTD.
NIPPON CONCEPT MALAYSIA SDN. BHD.
EURO-CONCEPT B.V.
NICHICON EUROPE B.V.
NICHICON UK LIMITED.
NIPPON CONCEPT AMERICA, LLC.

■ 主な事業所所在地

本社	東京都千代田区内幸町二丁目2番2号 富国生命ビル8階
京浜支店	神奈川県川崎市川崎区浮島町12番8号
京葉臨海支店	千葉県富津市新富101番5
中部支店 中部営業所	三重県四日市市高浜新町1257番2号
神戸支店 神戸営業所	兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号
阪神支店 阪神営業所	兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号 （2018年1月新設）
水島支店 水島営業所	岡山県倉敷市玉島乙島7471番252号
徳山支店 徳山営業所	山口県下松市葉山一丁目819番13号
新潟出張所	新潟県新潟市東区船江町一丁目55番30号

■ 役員

代表取締役社長	松元　孝義	社外取締役	桜田　治
取締役副社長	山中　康利	取締役監査等委員	樋川　浩造
常務取締役	若園　三記生	社外取締役監査等委員	有賀　隆之
取締役	岩崎　祐世	社外取締役監査等委員	相浦　義則
取締役	河村　信三	社外取締役監査等委員	関　常芳

■ 株式の状況

発行可能株式総数	46,992,000 株
発行済株式総数	13,868,500 株
株主数	9,949 名

上位10名の株主の状況

株主名	持株数（株）
松元　孝義	2,930,500
株式会社商船三井	2,080,300
DAIWA CM SINGAPORE LTD-NOMINEE YAMANAKA YASUTOSHI	1,338,800
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	864,800
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	645,000
有限会社エスアンドアール	600,000
蓮見　正純	300,000
株式会社三菱UFJ銀行	300,000
株式会社三井住友銀行	300,000
有限会社エムアンドエム	300,000

■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株
基準日	12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部
上場取引所	東京証券取引所　市場第一部
証券コード	9386
公告方法	当社の公告方法は、電子公告としております。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 http://www.n-concept.co.jp/

（ご注意）
1．住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
　株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
　なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申し出ください。
2．未払配当金の支払いについて
　株主名簿管理人である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申し出ください。

VEGETABLE OIL INK

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022915